

当欄からみると「折々のことば」は①軒（ ）を接する隣家のよう。言葉の泉の豊かさに感心する毎日だが、さつそうと横書きで②オウブン（ ）を紹介されると③嫉妬（ ）が頭をもたげる。「いつか紙面で」と書きとめた④詩歌（ ）が先に使われると心はやはり①湿る▼まぶしくも気になる「折々のことば」を中高生が自作するコンテストに今年は2万7千人が⑤挑（ ）んだ。⑥クワ（ ）しくは本日の紙面に譲るが、当欄でも胸に響いた作品を紹介したい▼まずは受験生に捧げる名言から。「Dは『だめ』のDじゃなくて、『大丈夫』のDとよ」。福岡県の3生が中学受験前、年長のいここに言われた。志望校の合格判定はD、D、D。いとこの言葉で「まだ間に合う」と思い直し、みごと受かった▼沖縄県の中2生が⑦ア（ ）げたのは⑧ニンチショウ（ ）の進む祖母の言葉だ。「脳では忘れるかもしれない。でも、心では絶対に忘れないよ」。孫の名も家への道も忘れる姿に「どうせ、私と過ごしたことも全部忘れるんでしょ」と言ってしまった時の返事という▼「男は女を裏切るし、女は男を裏切るけれど、科学は私を裏切らない」。(2)ドキツとするひと言を選んだのは横浜市の中1生。科学の先生のそのまた先生の言葉である男女の裏切りなど人生経験の少ない自分にはわからないが、この言葉は心に直球で届いたと説明する▼当方も日頃せつせと名文句を⑨テチヨウ（ ）に集めているものの、中高生好みの歴史や政治の⑩リヨウイキ（ ）にかたよりがち。10代の感性がすくい上げた言葉の宝石に接する幸せをかみしめる。

「2017年1月6日「天声人語」

問一 ①～⑩のカタカナ部は漢字に直し、傍線部は読みを書き入れなさい。

問二 傍線部(1)「湿る」と同意味の用例の選択肢を○で囲もう。

ア ひんやりと湿った空気 イ 湿った話は御免だ ウ 湿った声で話す

問三 傍線部(2)の理由を30字程度で説明してみよう。

()

問四 次の入賞・佳作作品の発言者をあとの語群から選び、記号を書き入れよう。

a 常連校。なんて言うな。一度きりの夏なんだ。()

b 耳が聞こえづらいから私は皆の顔を見るの。()

c お互いを落とし合うのは友だちじゃない。()

e 始点と終点が同じだったら、途中どんなベクトルを経由してもいい。()

f 「微力」だけど「無力」じゃない。()

g 大きくなったねえ。()

h 許すはよし、忘れるはなおよし。()

〔語群〕①新聞広告 ②クラスメート ③周りの大人の人たち ④数学の先生

⑤植林体験授業の参加者 ⑥ロバート・ブラウニング ⑦私のおばあちゃん

問五 最優秀賞は『ハーフ』じゃない『ダブル』だ――父(神奈川 中1男子)。

これを説明した次の文章の()に同じ2字熟語をあてはめよう。

・父は、ぼくが日本人×コストリカ人なのだと()を持たせたいのだ。日本と同じくらいコストリカのことを知り、()を持って「ダブル」と言いたい